

令和7年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立柳沢小学校

全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	58.0	・平均正答率は71%で、都・全国を上回りました。	・話すこと・聞くこと(68.1%)が都平均を下回り、口頭でのやり取りに課題が見られます。
	【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く	55.1	・知識・技能領域の「我が国の言語文化」89.9%、「言葉の特徴や使い方」81.9%で、特に高い成果が見られました。	・書くこと(69.6%)が都平均よりやや低く、文章構成力や表現の工夫に課題があります。
	【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する	58.0	・文章を正しく読み取る力が全国平均を8ポイント上回っており、読解力の定着が見られました。	・思考力・判断力・表現力が知識・技能に比べて低く、思考したことを相手に伝えたり、文章にまとめたりする力を一層伸ばす必要があります。
	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する	46.4	・記述式や短答式でも全国を上回っており、表現する力が身に付いてきています。	
算数	ブロックリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く	24.6	・平均正答率は63%で、全国平均58%を5ポイント上回りました。	・変化と関係(58.0%)が都平均より約7ポイント低く、関数的な考えや数量の関係を捉える力に課題が見られます。
	五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く	40.6	・図形(63.0%)は都・全国より高く、空間認識や図形の性質理解が身に付いています。	・思考・判断・表現(49.9%)は知識・技能に比べて低く、問題解決的に数学的に考える力が十分ではありません。
	$3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く	27.5	・知識・技能(72.6%)が都・全国を上回り、基本的な計算や定型問題を解く力があります。	・記述式(37.0%)が都平均を下回り、考え方を筋道立てて表現する力に課題が見られます。
	10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ	40.6	・短答式(69.3%)で全国を大きく上回り、答えを簡潔に示す力が定着しています。	
理科	アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ	7.2	・平均正答率は63%で、全国57%を6ポイント上回りました。	国より高いものの、得点率が6割に満たず、知識の定着にやや課題が見られます。
	ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ	44.9	・「地球」「エネルギー」「粒子」「生命」の各領域ごとに見ても都・全国を上回っています。	・「記述式」問題は成果が見られる一方で、答えをさらに具体的に説明する力を伸ばす必要があります。
	レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気付きを基に、見いだした問題について書く	46.4	・「知識・技能」「思考・判断・表現」の両方で全国平均を超え、バランスよく力が付いています。	・実験や観察の結果をもとに、自分の考えを科学的に筋道立てて表現する力を伸ばす必要があります。
	水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く	50.7	・「短答式」「記述式」ともに全国を大きく上回り、考えを自分の言葉で簡潔に表す力が	